

## 第18回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和3年7月16日(金)19時00分～19時28分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理局長兼危機管理監、総務局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者  
仙台市医師会 永井顧問、宮城県復興・危機管理部 千葉危機管理監兼副部長

次 第：1. 開 会

2. 議 事

(1)本市の感染状況について

(2)宮城県の対応について

(3)本市の取り組みについて

3. 閉 会

### 議事要旨：

(1)本市の感染状況について

- ・時短要請が終了し1ヵ月余りが経過したが、7月に入り新規陽性者数が2桁になり、ここ数日には30人近くで推移している。加えて、感染経路不明者数、実行再生産数について、感染再拡大の早期探知の指標として注視していたが、今週はじめには「行動の目安」に達したものと判断し、全庁応援体制による保健所体制や検査体制の強化を図りながら、県とも情報共有し、協議を開始したところ。

- ・資料1について健康福祉局長より説明

(2)宮城県の対応について

- ・資料2について危機管理局長より説明

(3)本市の対応について

- ・資料3について危機管理局長より説明

### ○関係局長より報告

<経済局長>

- ・県の資料（資料2）の資料4の感染症拡大防止協力金第8期について説明。
- ・市の資料（資料3）の2にて、第5期・第5期延長、第6期、第7期の協力金の状況について説明。
- ・第5期から第6期分については申請受付を終了しており、第5期・第5期延長分については約4,400件の申請を受け付け、そのうちの約9割について支給が終了している。第6期分は、約4,100件の申請を受け付け、約6割について支給が終了している。
- ・6月21日より受付を開始した協力金の第7期分については、約2,300件の申請を受け付けており、昨日までに約500件の支給を終えたところ。
- ・協力金の支給に関しては、中小企業診断士、税理士、行政書士などの専門家や、各局からの応援職員の協力を得て審査体制を確保しており、速やかな支給に努めてまいる。
- ・6月30日まで受付を行っていた時短要請等関連事業者支援金については、5,011件の申請を受け付け、そのうちの約8割の支給が終了している。

- ・第2次となる時短要請等関連事業者支援金の申請受付を7月14日より開始しており、これについても速やかな支給に努め、引き続き事業継続の支援を図ってまいりたい。

#### ○市長より指示

- ・前回の時短要請解除から1カ月余りでの時短要請となり、事業者へ負担をかけることから、協力金や支援金の速やかな支給に向けて遺漏のないよう事務を進めるとともに、引き続き認証制度の周知・協力を努めること。
- ・リバウンド防止徹底期間中における県の対応、要請について、改めてその内容を市民や事業者にも周知する。
- ・全国的にもデルタ株のまん延が懸念されている状況を踏まえ、市民や事業者に対する感染拡大防止の呼びかけを継続・強化すること。
- ・感染拡大に備え、強化した全庁応援体制が機能するよう、各局において業務の停止や縮小等により応援職員の確保に努めること。

#### ○仙台市医師会 永井顧問より

- ・首都圏の感染者が増加し、仙台市においても感染者が100人を超えることが十分考えられる。
- ・先日、オリンピックの有観客での開催について市長が意見したが、市民の意見を代弁したものと医療関係者として評価している。しかしながら有観客で実施することとなったため、非常に厳しい状況になるのではと危惧している。
- ・ワクチンの供給不足により個別接種の新規予約受付が一時停止となっている。ワクチン接種により高齢者の患者数及び重症者数が減っており接種の効果があると感じているが、40代、50代の患者数及び入院者数が増加している。働き盛りの年代の感染は社会的にも大きな問題だと思っている。ワクチンが潤沢に供給されるよう、国に強く要請してほしい。

#### ○宮城県復興・危機管理部 千葉危機管理監兼副部長より

- ・前回の時短要請解除から約1か月で、再び仙台市の飲食関係事業者及び市民へ負担をかけることになるが、早い段階で新たな対策に踏み切ることとなった。
- ・仙台市は協力金支給事務について協力をいただき御礼申し上げる。
- ・今後も引き続き仙台市と連携し取り組んでまいりたい。

#### ○市長より指示

- ・今後の感染動向は、過去のデータ等から見ても再拡大が強く危惧される。加えて、夏休みシーズンの到来や大型イベントの開催等による人流も勘案すると、感染がより大きく広がる可能性も想定される。
- ・東京都では、昨日新規陽性者数が1,300人を超え、首都圏との従来の多い本市としては大きな不安要素である。
- ・感染が拡大する前に抑え込むことができるよう、時短要請への理解と協力をお願いし、市民にも今一度感染防止対策の徹底をいただくよう周知に努めること。
- ・国や県、医療機関との連携を密にし、市役所全庁を挙げた応援体制のもと、保健所体制及び検査体制を強化し、感染の封じ込めに全力で取り組んでまいらる。

以上